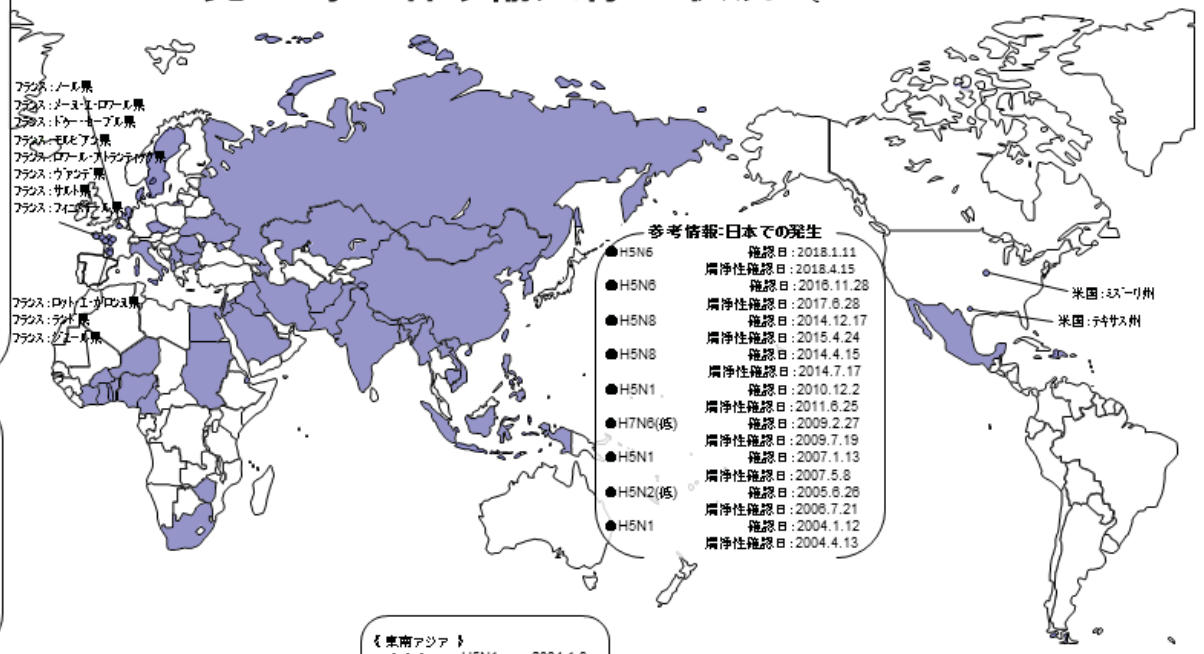
海外における高・低病原性鳥インフルエンザの発生状況とそれに伴う我が国の措置

・海外からの鳥インフルエンザの侵入を防止するため、発生時には家きん、家きん肉等の輸入を停止。
・平成16年2月からは、ペットも含め全ての鳥類について発生国からの輸入を停止。
・アジア諸国を対象に、本病のまん延を防ぐため、国際機関を通じ、防疫対策を支援。

家きんの高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生等に伴う輸入停止状況

＝輸入停止国【58か国/地域】



《ヨーロッパ》

ロシア	H5N1	2005.7.22
ウクライナ	H5N1	2005.12.6
イタリア	H7N3(低)	2002.10.23
ルーマニア	H5N1	2005.10.11
アルバニア	H5N1	2006.3.9
チェコ	H5N1	2007.6.22
セルビア・モンテネグロ	H5N1	2006.4.5
フランス		
ノール県	H5N3(低)	2017.9.22
ドゥー・セーブル県	H5N1(低)	2017.1.6
ロット・エ・ガロンヌ県	H5N3(低)	2017.12.4
モルビアン県	H5N3(低)	2018.2.6
ジェール県	H5N3(低)	2018.2.6
ロワール・アトランティック県	H5N3(低)	2018.2.6
ヴァンデ県	H5N3(低)	2018.2.9
ノール県	H5N2(低)	2018.2.22
サルト県	H5N2(低)	2018.3.6
フィニステール県	H5N3(低)	2018.3.12
オランダ	H5N6	2017.12.10
ブルガリア	H5N8	2017.10.19
スウェーデン	H5N6	2018.5.28
デンマーク	H5(低)	2018.5.7

《アフリカ》

ナイジェリア	H5N1	2006.2.9
南アフリカ	H5N2	2004.8.9
ジンバブエ	H5N2	2005.12.5
エジプト	H5N1	2006.2.21
ニジェール	H5N1	2006.3.1
カメルーン	H5N1	2006.3.14
スーダン	H5N1	2006.4.21
コートジボワール	H5N1	2006.4.27
ブルキナファソ	H5N1	2006.5.31
ジブチ	H5N1	2006.5.31
ガーナ	H5N1	2007.5.7
トーゴ	H5N1	2007.6.26
ベナン	H5N1	2007.12.6

《西アジア》

イラク	H5N1	2006.2.6
イスラエル	H5N1	2006.3.20
ヨルダン	H5N1	2006.3.27
パレスチナ自治区	H5N1	2006.4.18
クウェート	H5N1	2007.3.1
サウジアラビア	H5N1	2007.3.27
アゼルバイジャン	H5N1	2006.3.1
レバノン	(低)	2009

《南アジア》

パキスタン	H7N3	2004.1.27
インド	H5N1	2006.2.21
アフガニスタン	H5N1	2006.3.17
バングラデシュ	H5N1	2007.3.27
イラン	H5N1	2008.1.17
ネパール	H5N1	2009.1.19
ブータン	H5N1	2010.2.24

《東南アジア》

ベトナム	H5N1	2004.1.9
インドネシア	H5N1	2004.1.25
ラオス	H5(不明)	2004.1.27
カンボジア	H5N1	2004.1.25
ミャンマー	H5N1	2006.3.14
フィリピン	H5亜型	2017.8.12

《中央アジア》

カザフスタン	H5N1	2005.8.4

《東アジア》

中国	H5N1	2004.1.27
香港	H5N1	2001.5.18
マカオ	H5N1	2001.5.24
台湾	H5N2(低)	2010.1.22
モンゴル	H5N1	2005.9.2
北朝鮮	H7N7	2005.3.15
韓国	H7N7(低)	2010.10.18

《南北アメリカ》

米国		
ミズーリ州	H7N1(低)	2018.3.6
メキシコ	H7N3	2012.6.26
ドミニカ共和国	H5N2(低)	2007.12.25
ハイチ共和国	H5N2(低)	2008.6.16

※血清型は、輸入停止の原因となった型を示す
※日付は確認日(日本が発生等を確認し、輸入停止等の対応を行った日)
※病原性が不明又は低病原性鳥インフルエンザであることが確認できている場合、亜型表記の後ろにそれぞれ(不明)又は(低)と表記
※更新点:2018年5月7日付けでデンマークからの家きん肉等の輸入を停止

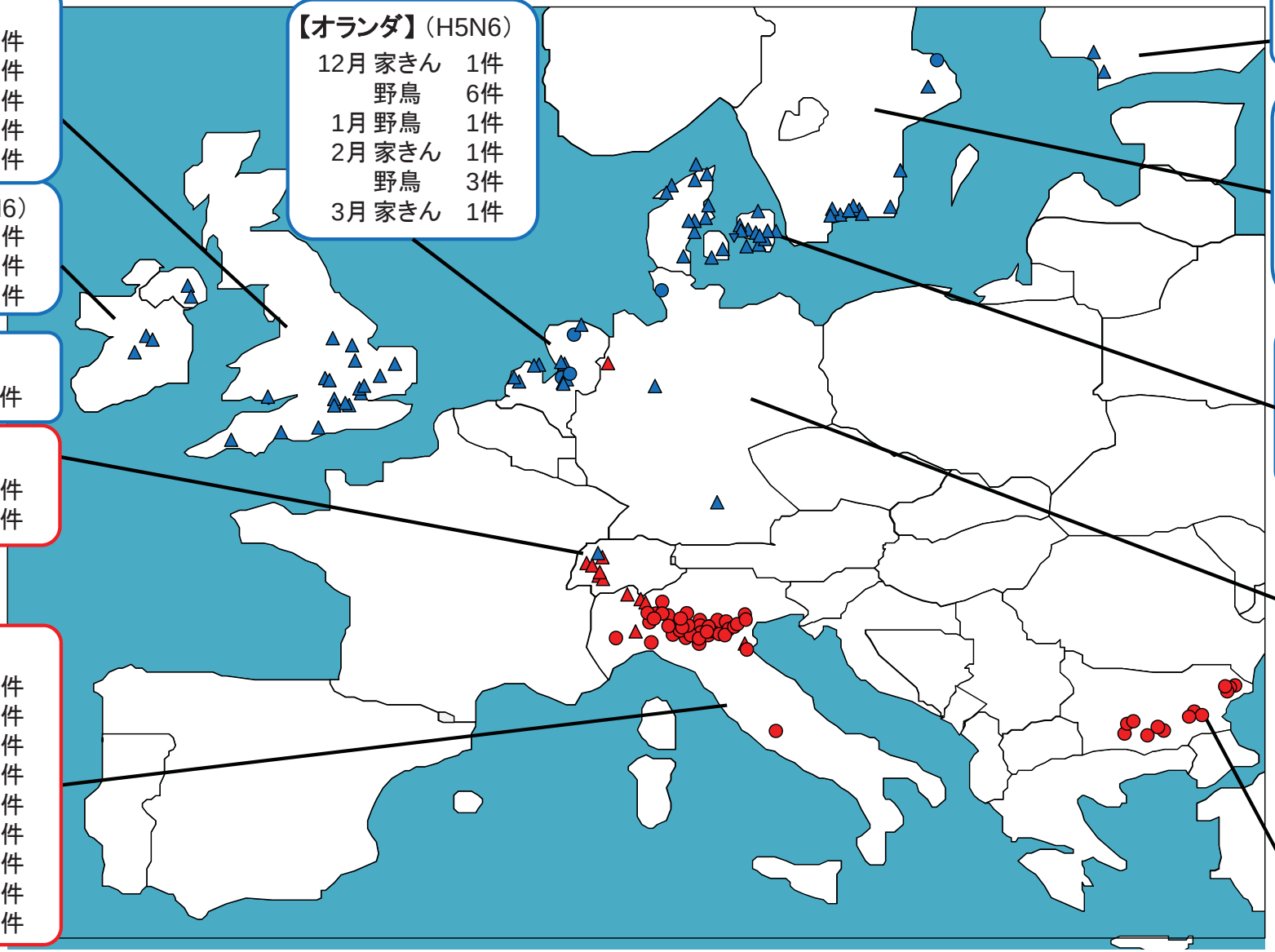
2018年7月2日現在

アジア地域への支援の概要

○“ワンヘルス”による動物疾病対策・食料安全保障強化事業
・平成30年度予算額　14百万円
・事業内容
　アジア域内の野鳥及び家きんの鳥インフルエンザの防疫対策ワークショップの開催、各国の狂犬病対策の有効性評価、アジア太平洋地域の獣医組織能力の強化等

○我が国のSPS関連総合対策プロジェクトのうち「口蹄疫等越境性感染症の清浄化に向けた取り組み」の概要
・平成30年度予算額　82百万円
・事業内容
　口蹄疫等防疫ロードマップの策定、口蹄疫等重要疾病の監視、情報共有の推進等

欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2017年8月以降）



【英国】（H5N6）

1月	野鳥	8件
2月	野鳥	11件
3月	野鳥	1件
4月	野鳥	1件
6月	野鳥	1件

【アイルランド】（H5N6）

1月	野鳥	1件
2月	野鳥	1件
3月	野鳥	1件

【スイス】（H5N6）

12月	野鳥	1件

【スイス】（H5N8）

8月	野鳥	5件
9月	野鳥	2件

【イタリア】（H5N8）

8月	家きん	13件
	野鳥	2件
9月	家きん	6件
	野鳥	1件
10月	家きん	23件
	野鳥	4件
11月	家きん	18件
12月	家きん	1件
3月	家きん	3件

【オランダ】（H5N6）

12月	家きん	1件
	野鳥	6件
1月	野鳥	1件
2月	家きん	1件
	野鳥	3件
3月	家きん	1件

【フィンランド】（H5N6）

4月	野鳥	2件

【スウェーデン】（H5N6）

1月	野鳥	1件
2月	野鳥	1件
3月	家きん	1件
	野鳥	1件
4月	野鳥	5件
5月	野鳥	2件

【デンマーク】（H5N6）

2月	野鳥	3件
3月	野鳥	12件
4月	野鳥	10件

【ドイツ】（H5N6）

12月	野鳥	1件
3月	家きん	1件
5月	野鳥	1件

【ドイツ】（H5N8）

10月	野鳥	1件

【ブルガリア】（H5N8）

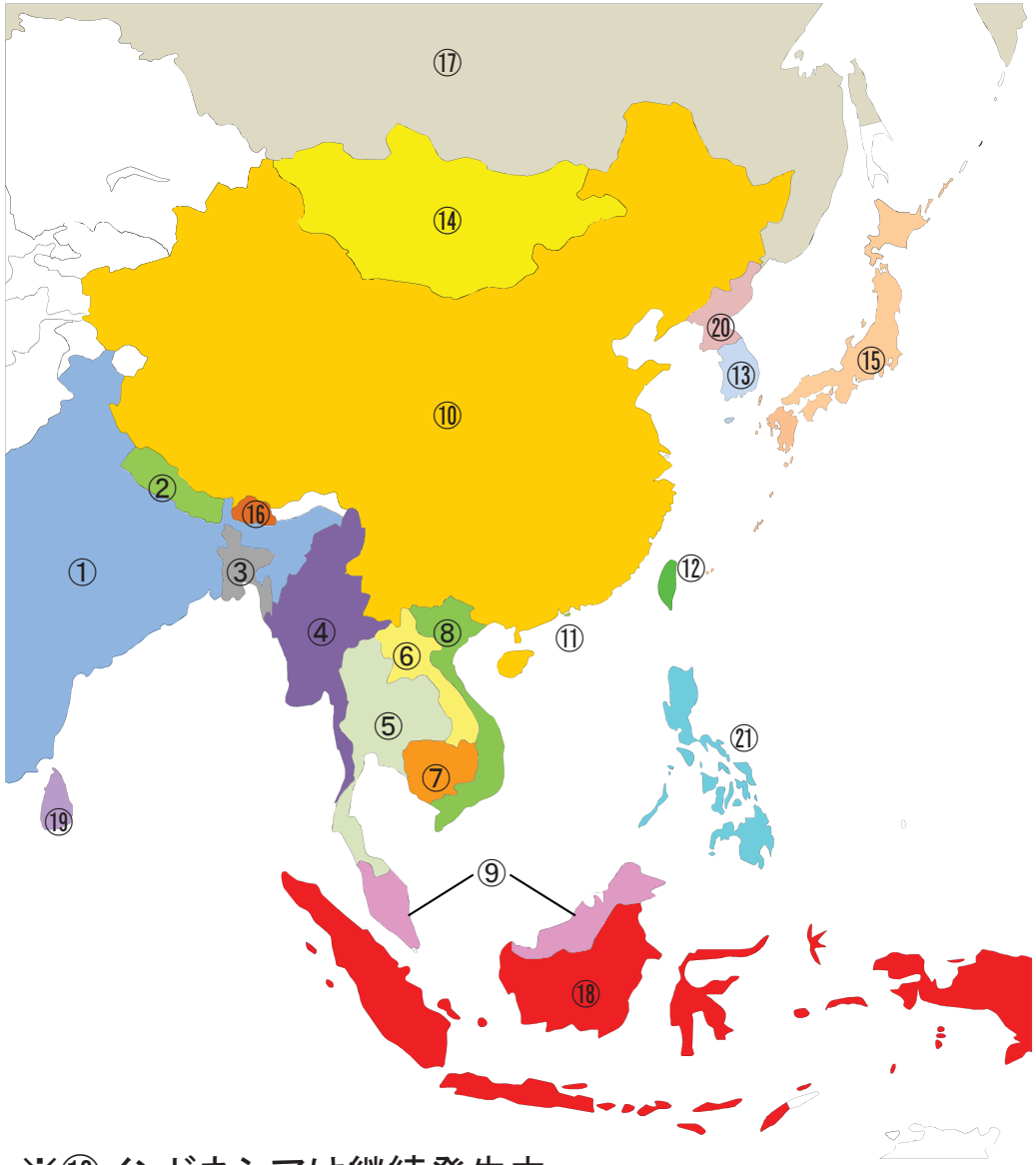
10月	家きん	2件
11月	家きん	3件
3月	家きん	1件
4月	家きん	5件
5月	家きん	1件
6月	家きん	1件

青：H5N6亜型（● 家きん、▲ 野鳥）
赤：H5N8亜型（● 家きん、▲ 野鳥）

2018年7月2日現在

出典：OIE等

アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況



※⑱インドネシアは継続発生中

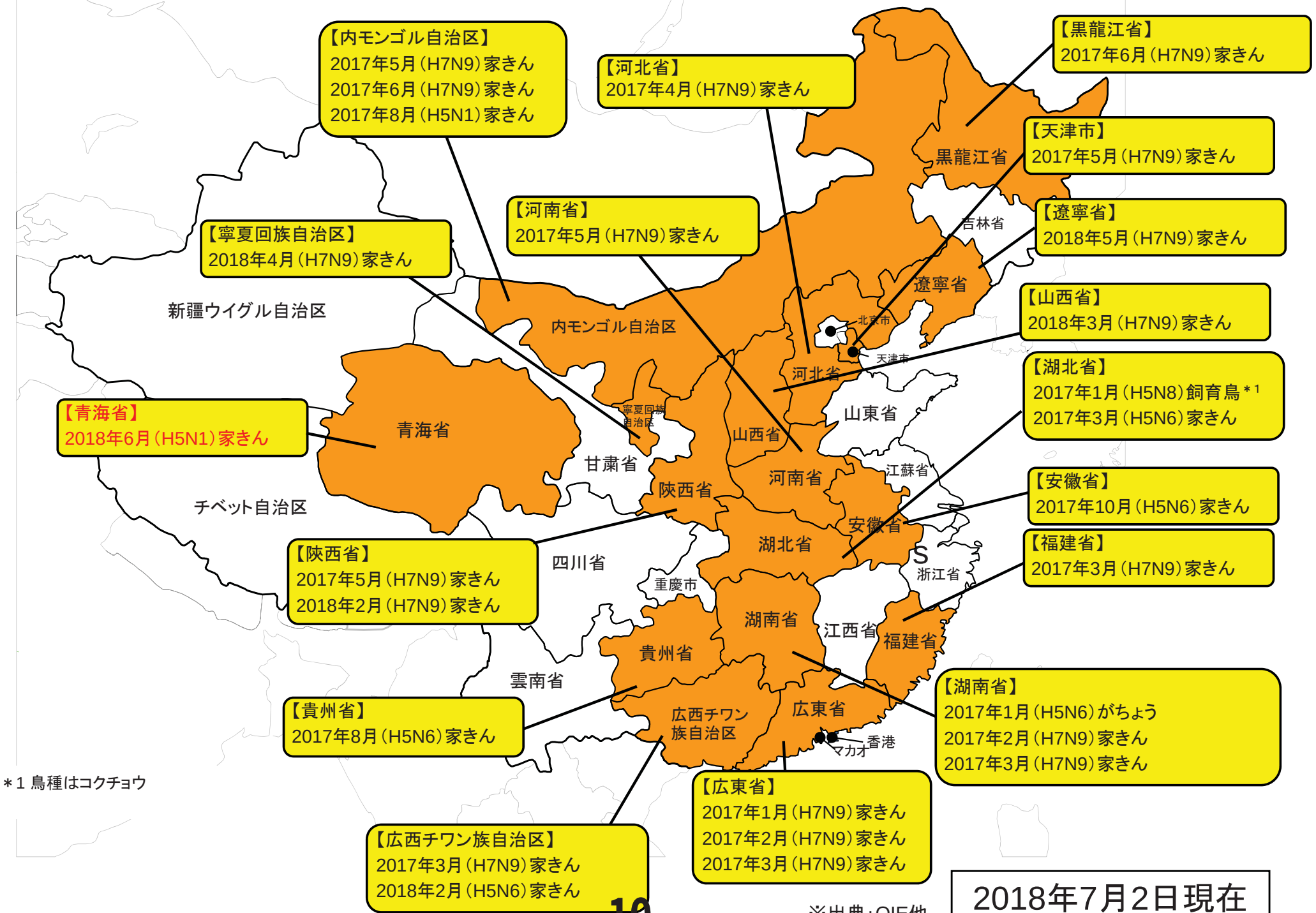
		①インド	②ネパール	③バングラデシュ	④ミャンマー	⑤タイ	⑥ラオス	⑦カンボジア	⑧ベトナム	⑨マレーシア	⑩中国	⑪香港	⑫台湾	⑬韓国	⑭モンゴル	⑮日本	⑯ブータン	⑰ロシア	⑲スリランカ	⑳北朝鮮	㉑フィリピン
2014年		●▲	●●	●			●●	●	●		●●	●	●●	●▲		●▲		●▲		●	
2015年		●▲	●		●		●●	●	●		●▲	▲	●●▲▲	●▲		●▲	●	▲			
2016年	1月	●							●		●		●▲								
	2月			▲					●		●	●	●								
	3月		●		●						●		●	●							
	4月				●				●				●	●							
	5月	●						●				●	●								
	6月								●		●		●					▲			
	7月												●								
	8月										●		●								
	9月						●		●				●								
	10月	●									●						●				
	11月	●										▲	●	●		●▲		●			
	12月	●▲									●▲		●	●		●▲		●			
2017年	1月	●		●▲				●●			●▲		●●	●▲		●▲		●▲			
	2月		●						●	●	●		●▲	●▲		●▲		●▲			
	3月		●▲						●	●	●		●	●		●▲		●			
	4月			●					●		●	▲	●●	●				●			
	5月								●		●		●					●			
	6月										●		●	●							
	7月				●		●		●				●								●
	8月								●		●		●					●			●
	9月								●				●								
	10月										●		●					●			
	11月			▲				●					●	●		▲		●			●
	12月	●		●				●				▲	●●	●				●			
2018年	1月							●				●	●●	●		●▲					
	2月	●▲						●	●		●	▲	●	●							
	3月	▲		●				●			●		●	●		▲	●				
	4月										●	▲	●								
	5月		●	●							●		●								
	6月		●								●		●								

2018年7月2日現在

家きん● 野鳥▲ （発生日、検体回収日に基づく）
（赤：高病原性鳥インフルエンザ、青：低病原性鳥インフルエンザ）

出典：OIE WAHID 他 ※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては、確認ができた台湾のみ記載

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2017年1月～）



＊1 鳥種はコクチョウ

※出典：OIE他

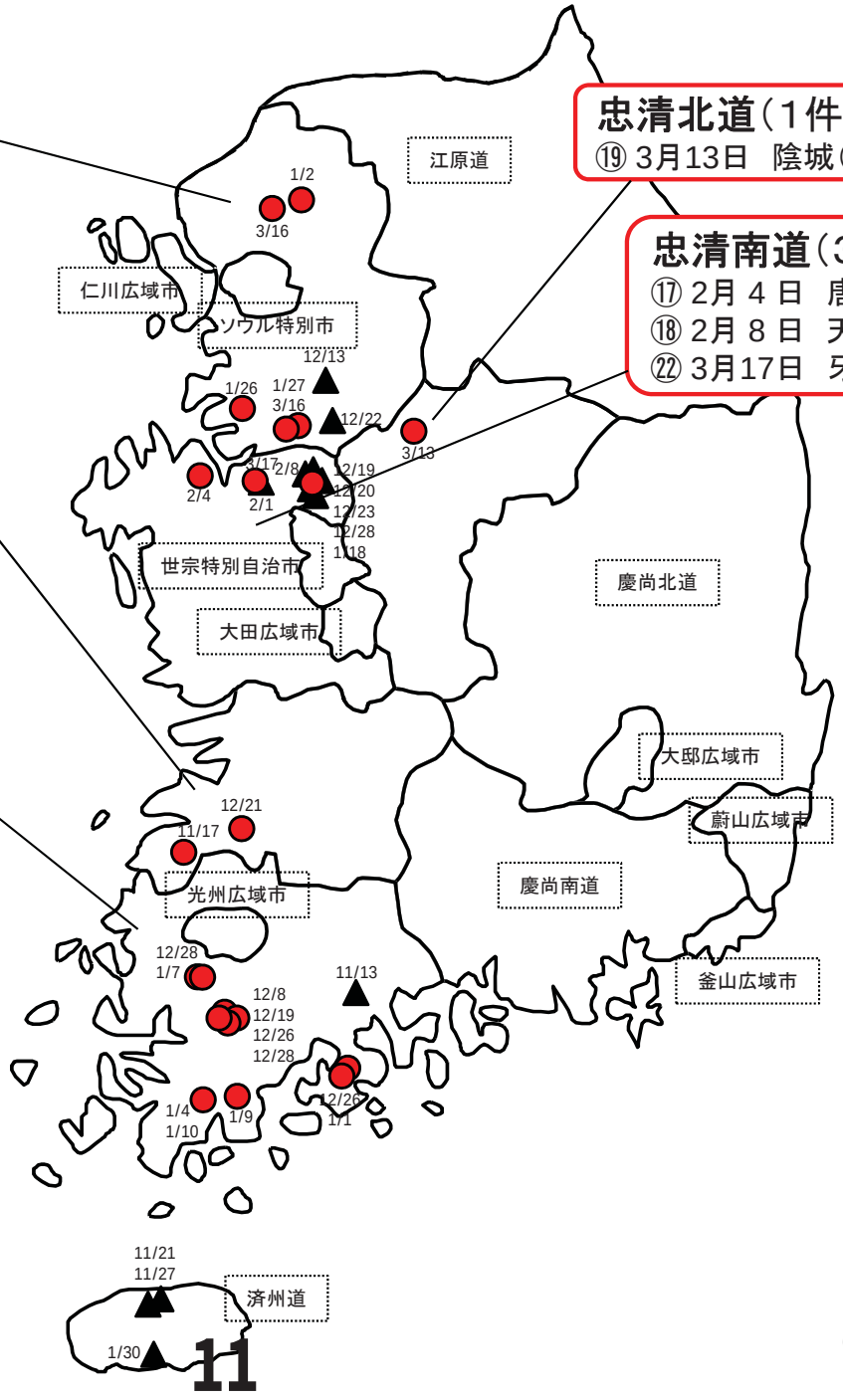
2018年7月2日現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザの状況（2017年11月以降）

京畿道（5件）
⑩ 1月 2日　抱川（ポチョン）市　採卵鶏　H5N6
⑮ 1月26日 華城（ファソン）市　採卵鶏　H5N6
⑯ 1月27日 平沢（ピョンテク）市 採卵鶏　H5N6
⑳ 3月16日 平沢（ピョンテク）市 採卵鶏　H5N6
㉑ 3月16日 楊州（ヤンジュ）市　採卵鶏　H5N6

全羅北道（2件）
①11月17日　高敞（コチャン）郡　肉用あひる　H5N6
④12月21日　井邑（チョンウプ）市 肉用あひる　H5N6
（③と同一系列農場）

全羅南道（11件）
②12月 8日　霊岩（ヨンアム）郡　種あひる　H5N6
③12月19日　霊岩（ヨンアム）郡　肉用あひる　H5N6
（②の疫学関連農場）
⑤12月26日　霊岩（ヨンアム）郡　種あひる　H5N6
（③と同一系列農場）
⑥12月26日　高興（コフン）郡　肉用あひる　H5N6
⑦12月28日　羅州（ナジュ）市　種あひる　H5N6
⑧12月28日　霊岩（ヨンアム）郡　肉用あひる　H5N6
⑨ 1月 1日　高興（コフン）郡　肉用あひる　H5N6
⑪ 1月 4日　康津（カンジン）郡　種あひる　H5N6
⑫ 1月 7日　羅州（ナジュ）市　肉用あひる　H5N6
⑬ 1月 9日　長興（チャンフン）郡 肉用あひる　H5N6
⑭ 1月10日　康津（カンジン）郡　種あひる　H5N6



● :家きんでの発生
▲ :野鳥からのウイルス分離

※ 日は症状の発現日又は検体の採取日

忠清北道（1件）
⑲ 3月13日　陰城（ウムソン）郡　肉用あひる H5N6

忠清南道（3件）
⑰ 2月 4 日　唐津（タンジン）市　種鶏　H5N6
⑱ 2月 8 日　天安（チョナン）市　採卵鶏 H5N6
㉒ 3月17日　牙山（アサン）市　採卵鶏 H5N6

家きんでの発生：22件（H5N6）

あひる	14
鶏	8

殺処分羽数：約654万羽

鶏	99農場	約581万羽
あひる	40農場	約70万羽
うずら	1農場	約3万羽
発生農場	22農場	約133万羽
予防的殺処分	118農場	約521万羽

野鳥の感染事例：12件（H5N6）

京畿道	2
忠清南道	6
全羅南道	1
済州道	3

検体は糞便、斃死体、捕獲鳥

2018年7月2日現在
農林水産省動物衛生課

（韓国農林畜産食品部資料より）

台湾の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況（2017年1月以降）

発生件数：282件

■：100件　■：10件　▪：1件

2018年7月2日現在

台北市：11件

新北市：4件

宜蘭県：8件

花蓮県：6件

台中市：4件

彰化県：23件

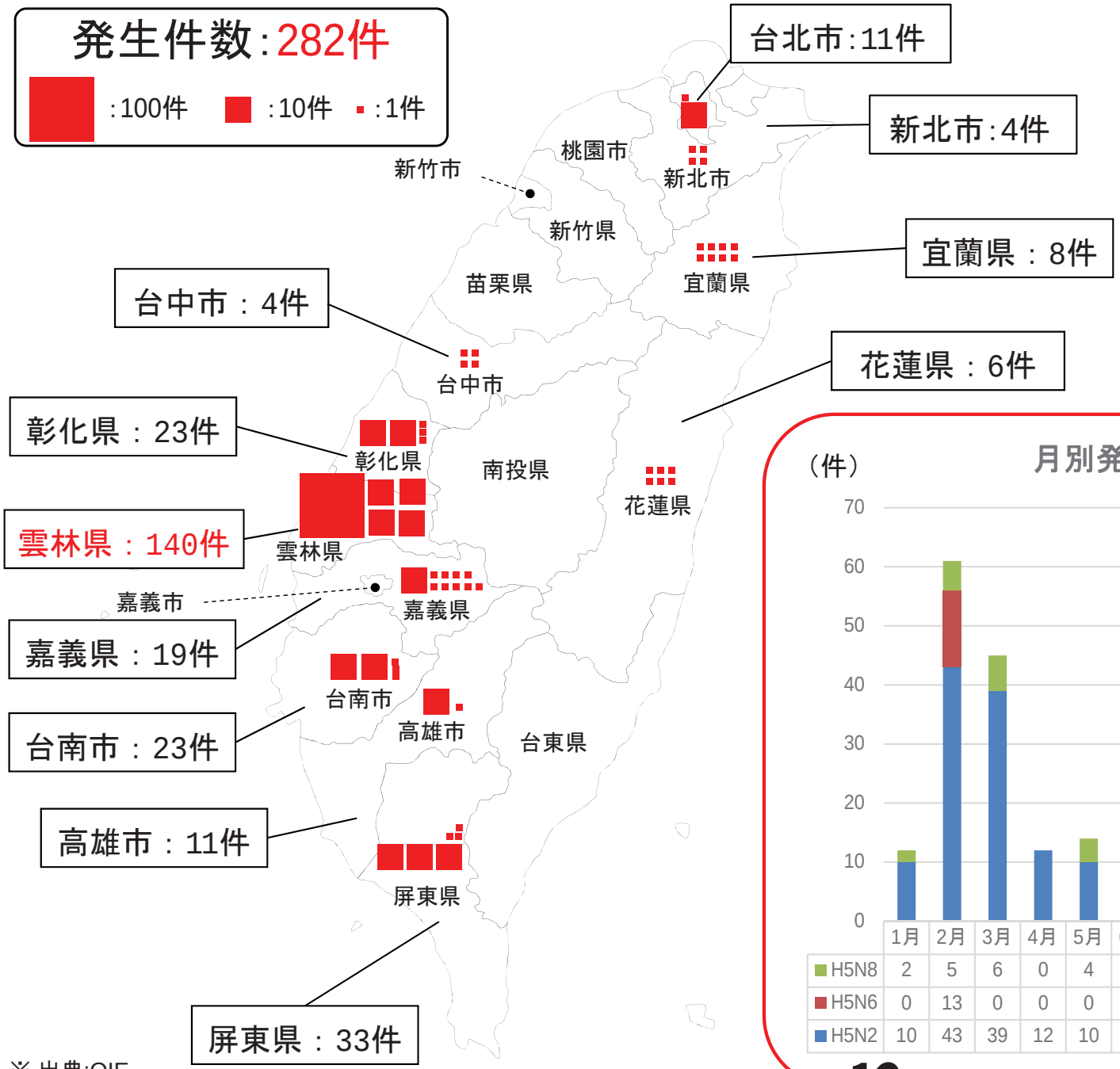
雲林県：140件

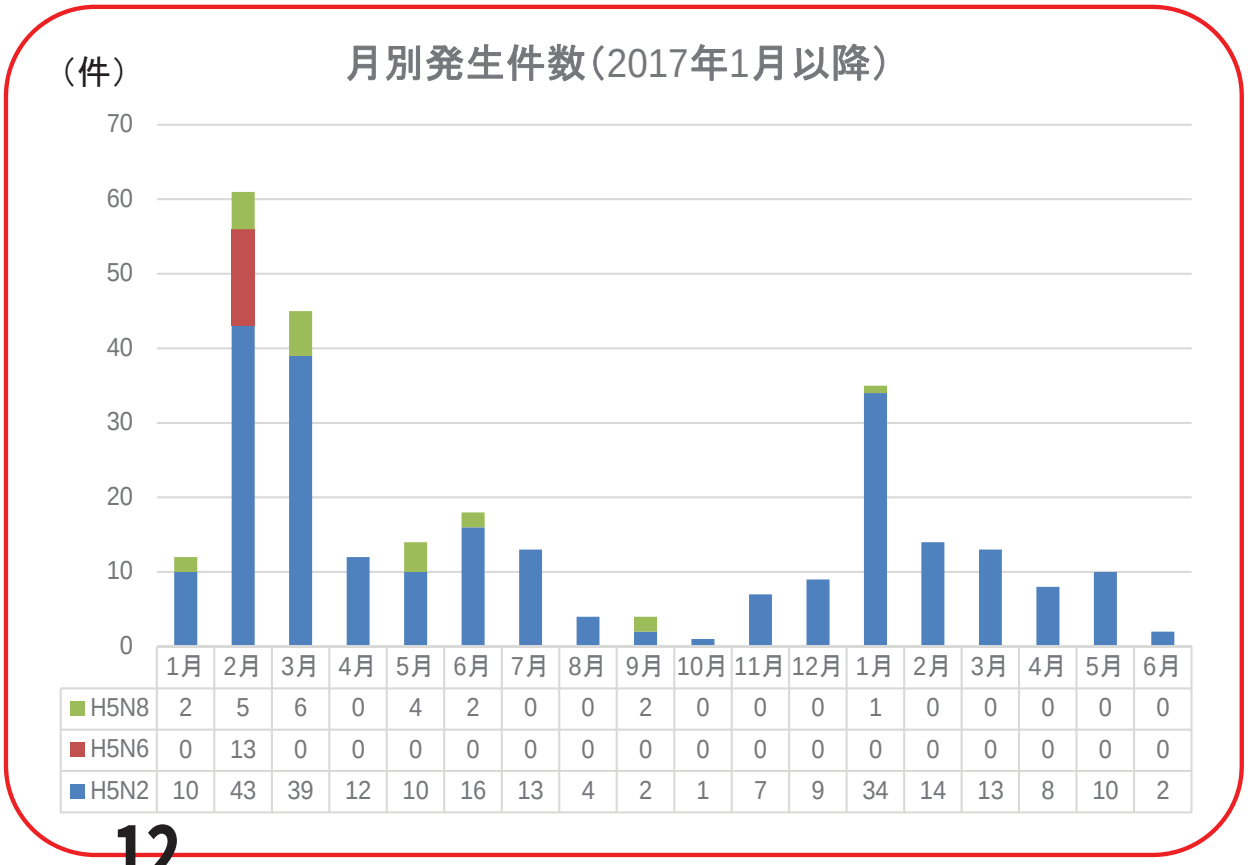
嘉義県：19件

台南市：23件

高雄市：11件

屏東県：33件





	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
H5N8	2	5	6	0	4	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
H5N6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H5N2	10	43	39	12	10	16	13	4	2	1	7	9	34	14	13	8	10	2

※ 出典:OIE

携帯品として持ち込まれる畜産物に対する検疫対応の強化

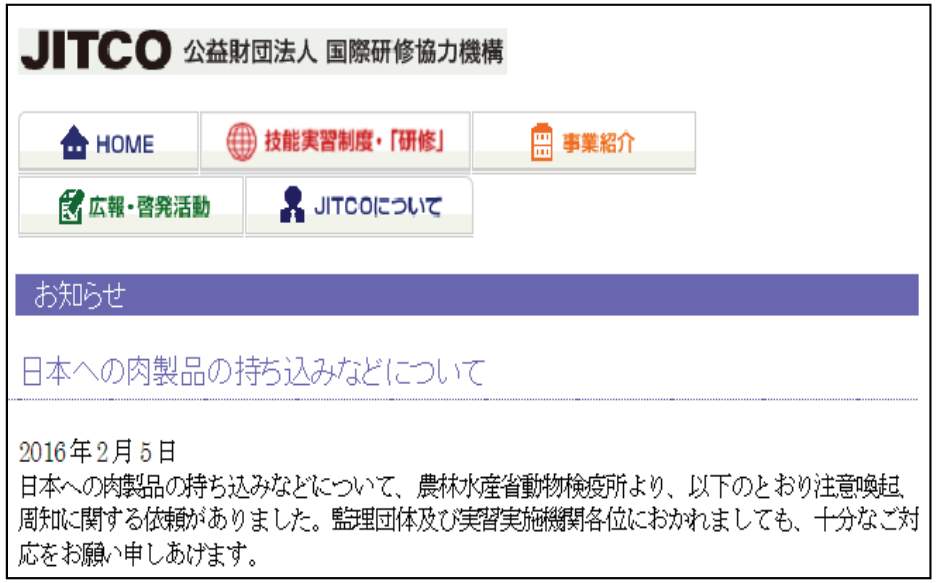
- 携帯品として持ち込まれる鶏肉等から高病原性鳥インフルエンザのウイルスが分離

モニタリング検査の結果

検査対象：中国、韓国、台湾、フィリピン等の牛肉、豚肉、鶏肉等

検査期間：平成27年６月～平成３０年３月（総検査検体数　553件(*)）

搭載国	畜肉種	分離ウイルス（株数）（赤字は高病原性）	調査時期
中国	あひる肉	鳥インフルエンザウイルスH9N2（2株）	平成27年度
		鳥インフルエンザウイルスH1N2（1株）	
		鳥インフルエンザウイルスH5N6（1株）	
	鶏肉	鳥インフルエンザウイルスH9N2（1株）	
		鳥インフルエンザウイルスH5N1（1株）	
		鳥インフルエンザウイルスH5N6（1株）	
台湾		鳥インフルエンザウイルスH9N2（1株）	
フィリピン		ニューカッスル病ウイルス（1株）	
中国	あひる肉	鳥インフルエンザウイルスH7N9（1株）	平成28年度
ベトナム	鶏肉	ニューカッスル病ウイルス（1株）	
中国		鳥インフルエンザウイルスH9N2（1株）	
ベトナム		鳥インフルエンザウイルスH9N2（2株）	
中国	あひる肉	鳥インフルエンザウイルスH7N9（2株）	平成29年度
台湾		鳥インフルエンザウイルスH5N1（1株）	
	鶏肉	鳥インフルエンザウイルスH6N1（1株）	

(*)H30年3月までに検査終了した検体数

- 外国人技能研修生・留学生の受け入れ団体に事前対応型の周知活動を強化